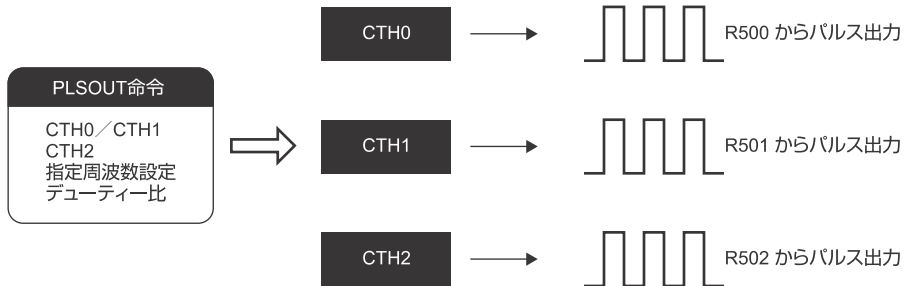


5-3 指定周波数パルス出力

指定した周波数でパルス出力できます。

指定周波数パルス出力機能の概要

指定周波数パルス出力専用命令「PLSOUT」は、使用する高速カウンタ・出力周波数・デューティー比を指定するだけで簡単に指定した周波数のパルスをCPUの出力リレーから出力できます。



！ポイント

指定周波数パルス出力機能は高速カウンタを使用しますので、同じ番号の高速カウンタを使用する他の機能や命令語は同時に使用できません。

指定周波数パルス出力命令

命令	ニモニック	動作概要	ページ
指定周波数パルス出力	PLSOUT	高速カウンタ(CTH0/CTH1/CTH2)を使用して指定した周波数のパルスを出力します。	5-94

MEMO

内蔵機能概要
モータ(位置決め)制御
指定周波数パルス出力
高速カウンタ
周波数カウンタ
カムスイッチ
ロギング・トレース
USB通信
シリアル通信
入出力
メモリーカード
時計機能
アラーム

PLSOUT

[-PLSOUT] 指定周波数パルス出力 高速カウンタを用いて指定した周波数のパルスを出力します。

ラダープログラム



入力方法

P L S O U T [] [] n1 [] [] S [] [] n2 []

オペランド	使用可能デバイス																インデックス 修飾		
	ビットデバイス								ワードデバイス						定数	間接指定		ローカル デバイス	
	R	DR	MR LR B	T	C	CTC	CR	DM TM W	T	C	CTH	CTC	Z	CM					##\$
[n1]	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-
[S]	○	-	○	-	-	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○
[n2]	○	-	○	-	-	-	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○

オペランド	説明					
[n1]	使用する高速カウンタの番号を指定します。(0~2) ^{※1※3}					
[S]	指定周波数(0~100000)(Hz)、またはそれを格納している先頭デバイスを指定します。ビットデバイスを指定した場合、連続する32ビットを占有します。ワードデバイスを指定した場合は2ワードを占有します。 ^{※1※2}					
[n2]	出力パルスのデューティ比(-499~499)、またはそれを格納している先頭デバイスを指定します。ビットデバイスを指定した場合、連続する16ビットを占有します。ワードデバイスを指定した場合は1ワードを占有します。 ^{※1※2}					
	設定値 (デューティ比-50)×10	-499	...	0	...	499
	デューティ比 TON / (TON + TOFF)	0.1%	...	50.0%	...	99.9%
出力パルス						

※1 "\$"での指定はできません。

※2 ビットデバイスを指定した場合、チャンネルの先頭以外(R106、R1012など)を指定した場合、次のチャンネルにまたがって扱います。

※3 [n1]に、指定できない番号が入力されている場合、命令語は実行されません。

動作説明

実行条件がONしている間、出力リレーから[S]で指定した周波数のパルスを出力します。使用する高速カウンタの番号は[n1]で指定します。出力するパルスのデューティ比は[n2]で指定します。実行条件がOFFすると、パルス出力を停止します。

📖 「指定周波数パルス出力」(5-92ページ)

ポイント

- 同じ番号の高速カウンタを使用した「PLSOUT命令」は、2つ以上同時に実行できません。
- [n1] で指定した番号の高速カウンタを使用する他の機能や命令語は同時に実行できません。
- [n1] で指定した番号の高速カウンタに関する CR(コントロールリレー)、CM(コントロールメモリ)は変更しないでください。

演算フラグ

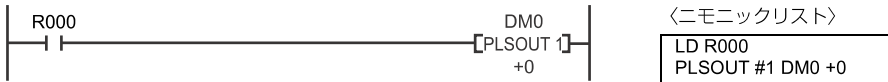
CR2009	変化なし
CR2010	変化なし
CR2011	変化なし
CR2012	以下の場合にはON、それ以外はOFF。 ・オペランドに範囲外の値を指定した場合 ・間接指定、インデックス修飾の範囲が不適切な場合 [n1] , [n2] とともに定数を指定した場合は変化なし

※ CR2012がONした場合、命令は実行されません。KV STUDIOにエラーとして表示されます。また、CM2250～CM2276にエラーの詳細情報が格納されます。

📖 「エラー履歴」(4-62ページ)

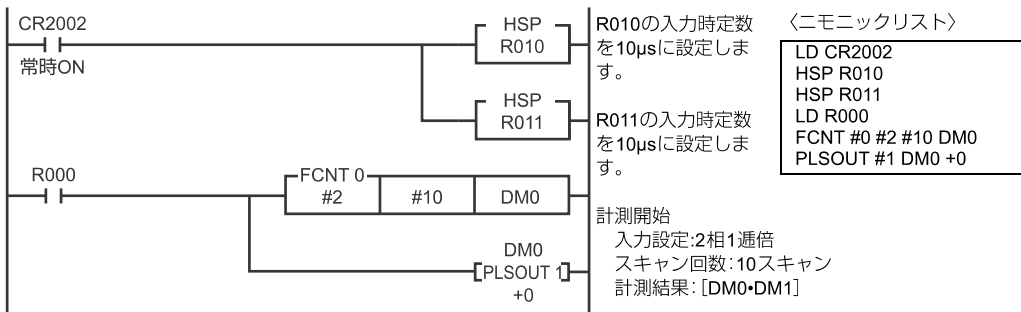
サンプルプログラム

R000をONしている間、[DM1・DM0]で設定された周波数(デューティ比50%)でR501からパルス出力します。(CTH1を使用)



● 応用例: 同調制御

エンコーダ入力A相R010、B相R011のとき周波数カウンタ機能と指定周波数パルス出力機能を組み合わせて同調制御を行います。(周波数カウンタはCTH0を使用、指定周波数パルス出力はCTH1を使用)



内蔵機能概要
モータ(位置決め)制御
指定周波数パルス出力
高速カウンタ
周波数カウンタ
カムスイッチ
ロギング・トレース
USB通信
シリアル通信
入出力
メモリーカード
時計機能
アラーム